

家畜かぶのバラ播栽培

雪印種苗KK札幌研究農場 安 部 道 夫

家畜かぶは作りやすく、どこにでも簡単に栽培でき、しかも短期間に収穫できる根菜です。また家畜の嗜好性が良く、多汁質で泌乳量向上の効果が大きく、乳牛1日1頭当たり20kgは給与したいものです。

1 栽培の圃場

収穫時期を考慮して、作付計画を立てておくことはもちろん必要ですが、もし今年の作付計画になくても、生育期間が90~120日の短いものですから、休閑地等を有効に活用してください。

- 夏作跡地……麦類の収穫跡地。
- 老朽化草地の更新時……1番草（1番草の収量は年間の約 $\frac{1}{2}$ ）を収穫後、尿や堆肥をドッサリ入れて耕起し、かぶを栽培収穫し、翌春混播牧草を新播するのが得策です。
- デントコーン跡地……北海道では無理ですが東北地方では一般的な方法です。但しこの場合注意しなければならないのは、かぶの播種を急ぐあまり、未熟デントコーンを収穫し高栄養のサイレージが出来ないということ。従って、デントコーンは早生品種（交3号、スノーデント1号）が適します。

2 栽培方法

家畜かぶの栽培に当っては、堆厩肥、尿等を十分に入れ、また石灰、熔燐など土壤改良資材を施用することが大切ですが、栽培方法を三つに分けられます。

普通（条播）栽培……畦幅60cm前後、株間20~30cm。間引は本葉3葉期頃。

ペーパーポット（紙筒）栽培……前作の関係で本畑での生育日数を十分にとれない場合、ペーパーポット（紙筒）の規格ペ1号またはS-1（どちらも1冊で1,400本育苗）をな使用し20日前後の苗床育苗を行い、本葉3~4葉期に本畑へ移植すれば多収が得られます。

ただし、家畜かぶの生育日数は紫丸かぶ90日、小岩井かぶ、下総かぶ110~120日が適切であるように移植期を定めるべきです。

バラ播き省力栽培……種子量が少なくて間引きの必要はなく、除草剤を用いるので除草の必要もなく、しかも多収を期待できる方法で北海道、府県各地で好評です。

3 かぶのバラ播き栽培法

—除草剤利用による省力栽培—

1) 播種期 北海道では7月中旬~8月上旬、東北では8月中旬~8月上旬。いずれも早まき程増収効果があがります。

2) 準備するもの（10a当り）

①種子：家畜かぶ60~70g、品種は北海道は、雪印改良紫丸かぶ、東北では、小岩井かぶ、下総かぶが適しています。

②肥料：完熟堆肥2~4t、硫酸40kg、過石40kg、硫加10kg、特に強酸性の土壤には炭カル100~200kg準備します。

③除草剤：トレファノサイド2.5%粒剤4.0kg

3) 播種法

①堆肥、炭カル散布後、耕起、碎土し、ていね

いに整地します。

㊸2)で準備した、種子、化学肥料、除草剤をよく混ぜ合せます。

㊸よく混ぜ合せた㊸を整地した圃場全面に均一にバラ播きます。

㊸播種が終わったら、ロータリで4~5 cmに浅く攪拌し、ローラー等で鎮圧します。攪拌なしで直接ローラー等で鎮圧、柴ハローをかけても、かまいませんが、ローラー等での鎮圧は、発芽を良好とするためにも必要です。

4) 管理

㊸間引：バラ播きですから、初めは個体数が多いが、その後自然淘汰を受け、ある程度減少しますから間引きは不用です。

㊸除草：トレファノサイドは、メヒシバ、スズメノカタビラ等の1年生細葉雑草や、スベリヒユ、ハコベ等の1年生広葉雑草には効果が有りますが、ツユクサ等の1年生雑草やスギナ等の多年生雑草、又発生後の雑草には効果が認められません。

㊸害虫防除：葉害虫（発芽期一ダノミ、生育全期一青虫、ヨトウ虫）による過度の淘汰（欠株化）を防ぐことが必要ですので、害虫の発生をみたら、殺虫剤（ディープテレックス剤）を散布します。

5) 収穫、収量

播種後90~120日で根部の収穫適期を迎えます。10a当りの収穫量は、個体約で20,000個近く、根重でも慣行栽培（条播）に比較し、30~50%増収が得られます。

札幌研究農場での条播とバラ播とを比較した試験結果では、バラ播は、根は $\frac{1}{2}$ 程度の小粒となるが、個体数は2倍になり、総重および根重で約40%の増収が得られました。

家畜かぶ（雪印改良紫丸かぶ）の慣行（条播）栽培とバラ播き栽培との収量比較（kg/10a）

	個 体 数	総 重	根 重	1 個 体 根 重	備 考
条 播	5,300 (100) ^個	5,960 (100)	3,860 (100)	0.73 (100)	畦幅 60 cm, 株間 25~30 cm
バ ラ 播	13,300 (251) [%]	8,210 (138)	5,200 (137)	0.40 (55)	



紫丸かぶバラ播き栽培で10アール5トン以上の根部収量

6) 貯蔵

収穫後、茎葉を切りとり、これは直ちに家畜に与え、根部は地下貯蔵庫または土中に家畜ビートに準じ貯蔵します。凍結させたり、積みすぎ、土のかけすぎは腐敗の原因となります。また大粒のものはスが入りやすく、むしろ小粒のものの方が貯蔵性大です。

4 ま と め

このように、除草剤を利用した家畜かぶのバラ播き栽培は、従来行なわれてきた直播・条播栽培に比し、

- 種子、肥料、除草剤を一度に播ける
- 間引、除草の手間がはぶける
- 40%程度の増収が得られる
- 小粒のため貯蔵性が大である

等の利点が認められます。

濃厚飼料価格が高値である昨今、自給飼料を十分に活用するために、特に飼料用根菜は多労作物とも言われていますが、上述のバラ播き栽培によって、労力を著しく低減し愛牛にタツプリ食わせ、泌乳量を向上していただきたいと思ひます。